



JR西日本グループ 考勤の現場⑥

“線路は生きもの”だと考える。
わずかな変化も見逃さないために。

線路は、列車の重みや衝撃を受け絶えず変化しています。
そんな線路を点検し、万全な状態に保つのが保線という作業。最終列車が走った後、歩いてゆがみをチェック。機械を使って整備しても、最後は人の目で確認します。
一步一步の積み重ねで、日々の安全と乗り心地を守っていきます。



安心と信頼のために、
できることのすべてを。